

# episode17 君は大阪の明日を見たか! ?

(後期課程 version)

## — 大阪証券取引所・大阪市府舎見学 —

平成 25 年 3 月 29 日 (金)



今回の RYS17 では 3～5 年生を対象として、大阪の政治経済の中心である中之島近辺を探索してきました。中之島は、江戸時代には、各藩の蔵屋敷が並んでいた地域で、日本の経済の中心でもあった地域です。現在でも、大阪証券取引所、日本銀行大阪支店が所在し、さらに大阪市役所、大阪中央公会堂、大阪府立中之島図書館、国立国際美術館などの施設があり、経済だけではなく、政治や文化的にも重要な地域となっています。近頃では、橋下徹大阪市長が、中之島の西に位置する大阪大学医学部跡地に新しい美術館を建築することを発表されている話題の地域でもあります。



### 【大阪証券取引所】



正午、堺筋線北浜駅に 26 名が集合しました。まずは、大阪証券取引所の見学から始まりました。証券取引所の建物は、改札を出てすぐに位置しており、地下通路でつながっていました。

証券取引所とは、株式を売りたい・買いたい投資家の注文が集まる場所です。日本の証券取引所は 1 箇所にあるのではなく、東京・大阪・愛知・福岡・北海道の各地にあります。今回訪れた大阪証券取引所は、明治 11 年 (1878 年) に設立されました。平成 21 年 (2009 年)、日本最初の成長、ベンチャー企業 (新興企業) 向け市場である「株式会社ジャスダック証券取引所」を完全子会社化し、平成 25 年 (2013 年) の 1 月に、東京証券取引所と合併しました。

エレベーターで 5 階に上がった大証マレット (システム売買室) では、コンピューターを利用した株券等の売買や、不正な取引が行われていないかの監視などをしていました。著名な会社の株価が表示されている様子を、公民科の「株

式学習ゲーム」を行った3年生などは、興味深げに見学していました。見学後、大阪証券取引所の前身である大阪株式取引所の発起人となり、その設立に力をつくした五代友厚の銅像前で記念写真を撮影しました。



## 【中之島散策】



証券取引所を後にして難波橋を渡り、中之島に入るとすぐに中央公会堂が見えてきました。中之島の建築物は、重要文化財として指定されているものが多く、中央公会堂もその一つです。大正2年春に着工し、述べ18万4千人の職人と5年の歳月を経て大正7年10月に完成しました。構造は鉄骨煉瓦造で、地上3階、地下1階建、ネオ・ルネサンス様式の建物です。大集会室などの施設内は残念ながら見学できませんでしたが、地下1階には公会堂の創建に尽力した岩本栄之助の名前を冠した部屋「岩本記念室」がありました。岩本記念室には栄之助の銅像や遺品の他、当時の大阪市長から栄之助の遺児善子に送られた感謝状など、栄之助にまつわる資料を各種展示されていました。今回は、この記念室を見学するとどまりましたが、平成14年に行われた保存再生工事の一端が展示されており見学することもできました。

3月29日（金）の当日は、中之島図書館前の桜が咲き誇り、春を感じさせてくれました。中之島図書館の本館（中央部分と1号書庫）は、明治37年に第15代住友友吉左衛門氏の寄付によってつくられたもので、外観はルネサンス様式を、内部空間はバロック様式を基本としながら、優れたデザイン力による格

調の高い建築となっています。コリント式円柱に支えられる正面はギリシア神殿を、ドーム状の中央ホールは教会を思わせる造りとなっています。大正 11 年に住友家の寄付により左右の両翼が増築され、ほぼ現在の建物が完成しました。昭和 49 年には本館及び左右両翼の 2 棟が国の重要文化財に指定されています。

内部に入ってみると、中央ホールのドームが、外観以上に一層印象的に感じました。中央ホールギャラリー上部のフリーズ（中間帯）には、本館を新しい八聖殿になぞらえて、階段正面上から右回りに菅原道真、孔子、ソクラテス、アリストテレス、シェイクスピア、カント、ゲーテ、ダーウィンの八哲の名が記されており、その学問に対する思いが伝わってきました。



## 【大阪市庁舎】



中之島をさらに西に進み、御堂筋にでる所に、大阪市庁舎があります。現在の大阪市庁舎は、花崗岩を全面に配した重厚な佇まいの鉄骨鉄筋コンクリート、地上 11 階、地下 4 階の建築物です。旧庁舎別館を解体撤去し本建物の第 1 期部分を建設する工事の起工式が 1979 年（昭和 54 年）4 月 23 日に行われ、1982 年（昭和 57 年）1 月に竣工しました。その後、庁舎を解体撤去し本建物の第 2 期部分を建設する工事が 1982 年（昭和 57 年）5 月に着工し、1986 年（昭和 61 年）1 月 27 日に竣工しました。

到着すると、担当の職員の方が、玄関ロビーに待機していただきました。職員の方に案内されて中に入ると、正面には大阪市の市章である「みおつくし」がデザインされた壁があり、広い空間に誇らしげにかかげられていました。エレベーターで屋上に上がると、

緑が敷き詰められた緑化の取り組みが見て取れました。そして、「みおつくしの鐘」に案内されました。この鐘は、昭和 30 年（1955 年）、大阪市の地域婦人団体協議会（現在は地域女性団体協議会）が、青少年をまもる愛の鐘建設運動に取り組み、会員の募金を中心に、毎夜 10 時を鐘のメロディーで知らせる「時報装置」と、



母の愛を象徴する「記念鐘」を製作、大阪市に寄付され、旧市庁舎塔に設置されたものです。

屋上の見学の後、いよいよ本会議の傍聴に向かいました。当日の会議は、年度末最後の本会議で、橋下徹市長も出席されていました。内容は多岐にわたり、新しい美術館についてや、大阪市立大学と大阪府立大学との統合についてなどが議題に上がっていました。翌日の新聞には、本会議の決議の内容が報道されており、傍聴したことがそのまま新聞記事となっていたことに、生徒達も新鮮な感慨を持っていてくれたと思われます。

## 団員の感想

### 大阪証券取引所

お金の動きをリアルに感じる事ができた。(3年男子)・数字が沢山あって、とても理解できなかった。そこで働ける人はすごいのだなあと思った。(5年女子)・株の変動がよく分かる大画面が特別っぽかった。(3年女子)・入るところにパスワードを打つところがあって、なんかすごいなーと思いました。(3年女子)・いつもテレビで見る取引の様子を見られてよかった。(3年女子)・東証とはイメージがちがった。(5年男子)・見方はよく分からなかったが、すごかった。(5年男子)・株の売り買いがこの場でされているなんて、すごいなと思った。(5年女子)

### 大阪市庁舎

市庁舎の中に、こんなに大きなホールがあるとは驚いた。(3年男子)・すごく立派な建物だと思った。市議会議員の方々も、建物に見合う立派な人であってほしい。(5年女子)・市議会を見ていると、一部の人が壇上で喋っているにもかかわらず、となりの人と話しているのが見えて、ダメな大人だと思った。(5年女子)・橋下さんいました。めっちゃくつろいでいた。(3年女子)・緊張感のある大阪市議会を見学できたのはとても価値のあるものだったと思います。(3年女子)・本会議はよかった。内容は少しはわかった。もうちょっと聞きたかった。橋下市長の声を聞きたかった。(4年男子)・本会議の話はよくわからなかったけれども、直接見る機会は今までなかったので、よい経験になったと思う。(4年男子)・初めて大阪市役所に来て、市議会を傍聴することができておもしろかった。堺市のも見てみたいと思った。(5年女子)・大理石がスペイン産なのがどうしてかと思った。いくつもの議題を一気に採決するのは不思議に思った。(5年男子)・会議がどのような感じで行われているかわかった。(5年男子)

## 大阪市議会が閉会

大阪市の3月議会は29日、2013年度の当初予算案などを可決して閉会した。橋下徹市長が提案した市営地下鉄・バス民営化に向けた条例案は、市長与党・大阪維新の会を除く全会派が継続審議を求めたため、次の議会に持ち越された。29日の本会議では、ほかに文化・芸術事業を評価する第三者機関「アーツカウンシル」の設置条例案も賛成多数で可決。一方、野党会派の要求で国民健康保険料改定議案に「社会・経済状況を踏まえ、(値上げを)最大限圧縮する」といった付帯決議が付けられるなど、計9議案は付帯決議付きの可決となった。橋下氏は国民保険料の値上げについて「決議を重視し、値上げ率を(当初方針の)3%から2%に下げる」と表明した。

## 橋下改革、公明ブレーキ

朝日新聞(朝刊)2013.3.30

## 参院選意識、自民と連携強化

3月市議会では、一昨年末の市長就任以来、橋下氏が急ピッチで進めてきた市政改革に対し、議会側がブレーキをかける場面が目立った。公明や自民会派には、夏の参院選を前に日本維新の会を率いる橋下氏に「地下鉄民営化を(実績として)アピールさせたくない」(自民市議)との思惑もあるようだ。

橋下氏が各会派と直接交渉するなど、今議会での成立にこだわった市営地下鉄・バスの民営化関連条例案は、公明(19人)、自民(17人)、民主系のOSA(9人)は継続KAみらい(9人)は継続審議で一致。幼稚園民営化の予算が盛り込まれた新年度予算案など9議案にも議

会側が釘を刺す形で付帯決議を付けた。こうした議会の状況を招いた大きな要因は、当初は橋下氏に協力的だった第2会派・公明の変化だ。公明はこれまで、市長の与党会派・大阪維新の会(33人)とともに教育関連や職員基本条例など「橋下

流改革」の関連議案成立に賛成。維新側はこれに呼応する形で、昨年の衆院選では公明の重点選挙区で維新候補の擁立を見送るなど配慮を重ねてきた。

しかし衆院選が終わると、公明は中央で連立政権を組む自民との連携を重視。今回の市議会でも自民と歩調を合わせる場面が目立った。公明側からは「維新との『連立』は終わった」(市議)との声もあがるなか、橋下氏は今後も議会対策で難しいかじ取りを迫られそうだ。(坂本素紀)

# RYS17

I LOVE OSAKA

